

令和4年度 第1回生涯学習センター運営審議会 会議録

- 1 開催日時 令和4年7月12日（火） 9時30分～11時00分
- 2 開催場所 人材かがやきセンター研修室（中央生涯学習センター5階）
- 3 出席委員 18名
西田委員長，若園副委員長，細川委員，熊倉委員，谷田貝委員，内山委員，吉澤委員，岡田委員，坂本委員，菊地委員，半田委員，首藤委員，阿久津委員，小林委員，谷内委員，口川委員，寺島委員，小野委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 内 容
 - ・宇都宮市生涯学習センター運営審議会について
 - ・議事
 - 【報告事項】
 - (1) 地域教育の推進等について
 - 【協議事項】
 - (1) 令和3年度生涯学習センター事業運営の評価について
(参考) 令和4年度生涯学習センター事業運営の考え方について
 - ・その他
 - (1) 宇都宮市民大学運営協議会への委員の推薦について
- 7 発言の要旨

事務局

【宇都宮市生涯学習センター運営審議会について説明】

西田委員長

それでは，議事を進めて参りたいと思います。
円滑な議事進行ができますよう，委員の皆様のご協力をお願いいたします。
まず，報告事項(1)「地域教育の推進等について」事務局から説明をお願いいたします。

事務局

【地域教育の推進等について説明】

西田委員長

ありがとうございました。ただ今の説明につきまして，ご意見，ご質問等ございましたら，お願いいたします。

寺島委員	生涯学習センターでは、生活困窮者への学習支援の場を提供していますが、そういう活動・事業は、私は大変評価されるべきだと思います。また、私は中央生涯学習センターを主に利用していますが、利用者のモラルが高く、職員の皆様の日常管理の成果だと思います。こうしたパブリック空間の利用の形は今後も様々になっていくと思いますが、地域住民がモラルにのっとり、安心・安全を確保して利用する一つの方向性を出してもらえると一層良いのではないかと思います。
事務局	生涯学習センターは宇都宮市に18館あり、各地域の拠点となるべき場所として捉えております。市民の学習活動の拠点であるほか、元々の公民館の役割自体が、人が集まる場でありますので、様々な方が集まって安心・安全に利用していただく場と考えております。今年度、中間見直しに取り組んでいる地域教育推進計画の中では、生涯学習センターや図書館の基盤づくり、施設の役割の強化についても整理していきたいと考えております。
西田委員長	<p>ありがとうございます。他にご意見・ご質問はございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>生涯学習センターは、地区市民センターとしても、市民活動センターとしても、皆さんに愛されて利用されることが良いと思います。避難所になることもありますので、広い意味での安心・安全を市民に対して提供する施設として続けていただき、計画の中でもご考慮していただければと思います。よろしくお願ひいたします。</p> <p>他にご質問なければ次へ移りたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
西田委員長	ありがとうございます。他にご意見がないようですので、この件に関しては以上といたします。次に、協議事項(1)「令和3年度生涯学習センター事業運営の評価について」事務局から説明をお願いいたします。
事務局	【協議事項について説明】
西田委員長	ありがとうございます。「令和3年度生涯学習センター事業運営の評価について」説明が終わりました。コロナ禍が続く中で、各センターに活動していただいて、まちづくりにつながる講座を実施していただいたということですが、ただ今の説明につきまして、ご意見・ご質問等ございましたら、お願いいたします。
小野委員	説明をお伺いして、とても苦勞されている姿が垣間見えます。講座を運営するのにも、スタッフの皆さんが苦勞されていることは重々承知しております。その中で、年間の講座の中に3本柱を織り交ぜていただけたらありがたいと思います。

一つは郷土愛。これは、館外学習が主流になるのではないかと思います。それから、宇都宮愛。宇都宮学を昨年から実施されているようですが、宇都宮学という素晴らしい企画に付随して、地域の皆さんに、もっとわかりやすく説明していただけたらありがたいと思います。それから、国を愛するということです。例えば、日本の伝統文化というものが戦後ふつりと切れてしまいました。たまにテレビなどで垣間見ることができそうですが、日本の国と住民との間が遠ざかっているのが現状のため、歌舞伎、浮世絵などの伝統文化について、センターで取り組みやすいものからスタートしてはいかがでしょうかと考えます。

西田委員長

ありがとうございます。事務局はいかがでしょうか。

事務局

郷土愛・宇都宮愛・国への愛というのは、日本人としても、市民としても当然のことだと考えています。講座の中で、できるだけ幅広い年代の層にこれらを散りばめることができるよう、講座等を企画している職員全員が意識していると思います。今後も計画の中にも盛り込んでいきたいと考えています。

西田委員長

ありがとうございます。若園副委員長、いかがでしょうか。

若園副委員長

数値の確認をさせていただきたいのですが、【資料3-1】2枚目「重点項目3・指標6の令和3年度の目標値390件、実績値261件ですと、単年度の達成度は87%でなく、67%ではないでしょうか。

事務局

ご指摘ありがとうございます。【資料3-1】2枚目の下段の指標6「生涯学習センターにおける学習相談件数」のうち、表になっている部分の目標値390件、実績値261件に対して、単年度の達成度は資料には87%と表記されていますが、令和3年度の単年度の達成度は67%が正しい数値となります。（※公表資料は修正済み。）

西田委員長

ありがとうございます。修正ということで、進めたいと思います。ほか、ご意見等ございますか。

坂本委員

各種事業を行う中で、防災に関する講座などは、地域全体に関わることであり、生涯学習という観点だけでなく、将来に向けた地域の重点項目として、地域全体に深く広げていく取組が必要だと思えます。この事業を行う中で、生涯学習だけでなく、中には地域全体に関わってくることもあり、生涯学習センターでの防災等の講座は、生涯学習センターだけの事業となると、小さくまとまってしまうので、全般として地域と一緒にあって、将来に向けた地域の重点項目として、防災なら防災関係と、もっと深く広げていくとよいかなと思います。

事務局

ご意見ありがとうございます。この会議は生涯学習センターの事業に関する

調査・審議をしていただくもののため、特化してご説明させていただいています。事業につきましては、特に区別をするというよりは、人づくりもまちづくりも一体的に取り組んでいます。計画の見直しの中でも要点として捉え、生涯学習を推進するためには、人・まち・全体を作り上げていくということを念頭に考えていきたいと思えます。

坂本委員 各地区で生涯学習センター独自の事業として行うことも必要だが、生涯学習だけでなく、まちづくり全体を含めた事業にしていただければと思います。

事務局 市の総合計画の中では、そういったものも謳っていますが、委員の皆様は様々なところで関わりがあり、幅広くご活躍されていると思いますので、いただいたご意見を参考に上位計画とのつながりなども見えるように反映させていただきます。

西田委員長 ありがとうございます。あくまでも生涯学習ではありますが、私が期待をしているのは、地域かがやきプロジェクトです。このプロジェクトの実施には地域理解がベースとなり、地域を知っている方も参加することから、生涯学習センターからまちづくりへとつながる架け橋になる可能性を感じていますので、引き続きそのつながりを見せていただければと思います。

熊倉委員 質問並びに要望ですが、一つは学習相談件数において、来館と電話による相談が、Eメールによる相談に比べて非常に少ないことです。これは、ぜひ来館をしてくださいという意味なのか、それともEメールではできない環境なのかをお尋ねしたい。もう一つは、私はVスタッフとして、各生涯学習センターから企画等があったときに活動しています。令和3年度の各生涯学習センターの実績によると、Vスタッフの活動数が非常に少ないのはどうしてなのか伺いたい。また、Vスタッフの活動を今後活かすことができるような各生涯学習センターでの企画をお願いしたいと思えます。

西田委員長 ありがとうございます。それでは、学習相談件数の件と、Vスタッフの件について、2点になりますが、事務局お願いいたします。

事務局 学習相談件数は、資料3-1の最終ページに内訳が載っていますが、生涯学習センターの窓口では、学習相談を受けることが業務の一つとなっています。Eメールにつきましては、ホームページ上に各センターに相談内容が届くお問い合わせフォームがあるほか、マナビス（生涯学習情報提供システム）からも相談メールのやり取りができるようになっていきます。実績としては、2件と件数が少ないため、周知を強化していきたいと考えています。

熊倉委員 マナビスについて、どの程度地域住民が知っているかといいますと、なかなか

か難しいと思います。私もEメールで相談しようと思ったことがありますが、なかなかそこまでたどり着かず、途中で辞めてしまいました。コロナ禍で来館や電話での相談も必要とは思いますが、できればEメールの環境をぜひ良くしていただきたいと思います。

西田委員長

ありがとうございます。事務局からありますか。

事務局

学習相談の受け方については、多様なやり方で誰もが気軽に相談していただける環境づくりに周知も含めて進めていきたいと思っています。

2点目のVスタッフの件につきましては、昨年度の実績を踏まえて募集時期や企画の期間等に課題があるのか洗い出し、来年度はできる限り多くの生涯学習センターの事業で活用していただけるよう、センター所長とともに検討しているところです。我々といたしましても、Vスタッフの皆さんが活躍し、企画してくださることで、センター職員の講座企画への負担が軽減される仕組みが上手く回るようにしていきたいと考えています。

西田委員長

ありがとうございます。貴重な質問をたくさんいただいているところですが、時間も押していますので、もしあとお一人いらっしゃれば、お願いいたします。

谷田貝委員

Eメールの話があったので、その関係でお願いがあります。宇都宮市（ほかの市町村もですが）は、問い合わせ等の通知文書にEメールアドレスを記載していないため、回答は電話またはFAXのみとなり、Eメールでの問い合わせができません。お問い合わせ先にクレーム内容等を書くと届きますが、自分のアドレス・住所・電話番号を相手方に示して質問するというスタイルでしか、市民は情報を求めることができない状況です。Eメールアドレスはなぜ載せられないのでしょうか。市の方針として、迷惑メールが来るために載せてはいけないのかわかりませんが、少なくとも生涯学習部門だけでもEメールアドレスを載せることはできないのか、検討していただければと思います。

西田委員長

事務局いかがでしょうか。

事務局

特にEメールアドレスを公開していないということはないと思っています。市の仕組みとして、個人ではなく、生涯学習課に一つのメールアドレスが付与され、全職員が共通で見ることができるようになっていきます。このメールアドレスは公開しており、ホームページからご意見をいただくこともできます。通知等を出すときにEメールアドレスではなく、電話番号とFAX番号の記載が主流になっていたように見受けられますので、そこは意識していきたいと考えております。

西田委員長 ありがとうございます。では、この件につきましては、以上といたしまして、「4 その他」に移らせていただきます。宇都宮市民大学運営協議会への委員の推薦について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 **【宇都宮市民大学運営協議会への委員の推薦について説明】**

西田委員長 ありがとうございます。ただ今、事務局からご説明がありました通り、宇都宮市民大学運営協議会への委員の推進依頼が来ています。委員を選ぶということです。これまではどのように委員を選んでいたのででしょうか。事務局からご説明いただいでよろしいでしょうか。

事務局 **【これまでの経緯を説明】**

西田委員長 ただ今、事務局からご説明がありました。これまでは、中央生涯学習センター代表の社会教育関係者を委員として選出していたということです。これまでの経緯を踏まえまして、中央生涯学習センター代表の細川委員にお願いできればと存じますが、委員の皆様、いかがでしょうか。

全員 **【異議なしの声】**

西田委員長 ありがとうございます。異議なしということで、それでは細川委員にお願いできればと存じますが、細川委員、いかがでしょうか。

細川委員 よろしくお願いいいたします。

西田委員長 ありがとうございます。それでは、細川委員を推薦者に決定したいと思います。細川委員、よろしくお願いいいたします。

 以上をもちまして、本日予定していましたがすべて終了いたしました。委員の皆様、円滑な会議の進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しいたします。よろしくお願いいいたします。

事務局 西田委員長、委員の皆様、大変ありがとうございました。
本日、事務局から事務連絡がございます。
【広報誌栃公連第64号、次回の会議日程についての説明】

 それでは、以上をもちまして、令和4年度宇都宮市第1回生涯学習センター運営審議会を閉会させていただきます。本日は、長時間にわたり、ご審議をいただきまして、誠にありがとうございました。